

東北都市学会 2019 年度大会
第 21 回

プログラム

【主催】東北都市学会 【共催】日本都市学会

2019(令和元年)年 11 月 23 日(土)～24 日(日)

於、秋田市文化会館



2019 年度東北都市学会大会
地域の記憶を後世に活かすまちづくり

東北都市学会会長 松村 茂

<趣旨文>

わが国においては、近年、世界無形文化遺産や日本遺産の登録、ジオパーク指定の動きなど、これまで文化財等は有形で場所も点的な存在であったものが、線的・面的な、広域的なつながりを念頭においた方向に変わってきた。このような遺産を巡る「ヘリテージ・ツーリズム」もブームのような流れである。また、地域の博物館・資料館なども各地で整備されるとともに、それに関わる NPO など市民活動が中心になり、地域の記憶を後世に語りつぎ、活かしていこうという取り組みが行われてきている。

今回の開催地である秋田市の北部に土崎地区がある。土崎は 1941 年 4 月 1 日に秋田市に合併されるまでは土崎港町であり、現在の人口は約 2 万人を数える。この土崎には、中世に安東氏が湊城を築き土崎港は「三津七湊」の 1 つに数えられ、江戸時代は久保田藩の藩港として内陸からは雄物川舟運、北前船の寄港地としての歴史を有し、「日本遺産・北前船寄港地―船主集落―」にも登録(2019 年 4 月 28 日)された。その安東氏の居城である湊城跡には 1620 年に土崎神明社が建てられ、その例祭が土崎曳山まつりで 1705 年が祭りの始まりといわれ、「世界無形文化遺産・鉾・屋台行事」の一つとして登録(2018 年 12 月 1 日)されている。

また、土崎は戦前、当時の国内石油生産の 7 割を誇った拠点でもあり、その製油施設を狙われた 1945 年 8 月 14 日に日本最後の空襲(7 市)と呼ばれている土崎空襲に見舞われた。地域では「土崎港被爆市民会議」など土崎空襲を語りつぎと様々な活動を展開しており、土崎地区には空襲に関わる場所が数多く示されている。

これらの遺産の動きや土崎空襲を後世に伝えていくために秋田市では、平成 30 年 3 月 24 日に「土崎みなと歴史伝承館」として整備した。ここは単なる展示施設ではなく、「伝承」が付いていることに意味がある。

今大会では、大会テーマを「地域の記憶を活かすまちづくり」とした。このテーマに準じたエクスカッション等を通して、今後の展開や課題を考えていきたい。

【主催】東北都市学会

【共催】日本都市学会

[日程]

11月23日(土)

11:50~15:30

エクスカーション(交通費 1,000 円程度)

秋田駅⇒秋田市土崎図書館⇒土崎神明社⇒土崎商店街⇒土崎みなと歴史伝承館⇒道の駅あきた港「セリオン」⇒展望台⇒秋田市文化会館

16:00~16:55

理事会

18:00~20:00

懇親会懇親会(会費 3,500 円/飲み物別)

場所:比内や 秋田店

<https://hinaiya-akita.owst.jp/>

11月24日(日)

9:00

受付開始

9:20~10:00

委員会

10:05~12:30

研究発表

[研究発表について]

1. 発表時間は**発表 20 分、質疑 5 分(交代時間を含む)**です。時間を厳守されますよう、お願い致します(**発表時間がニューズレターから変更されておりますのでご注意ください**)。
2. 発表資料は**20部**ご用意下さい。会場にはコピー機がございませんので、資料は事前にご準備下さい。

[大会参加者の皆さんへ]

1. 受付は、発表会場前で行います。
2. 受付では、**大会参加費 1,000 円(学生 500 円)**を申し受けます。
3. **エクスカーションは移動の交通費がかかります(1,000 円程度)**。
4. **懇親会費(3,500 円)**は別途申し受けます。

[会場のご案内]

■大会会場は、下記の地図をご参照下さい。



11月23日(土)

【エクスカージョン】

11:50～15:30 秋田駅中央改札口集合（交通費 1,000 円程度、Suica は使用出来ません）
※ 念のため傘をご持参下さい

秋田駅⇒秋田市土崎図書館⇒土崎神明社⇒土崎商店街⇒土崎みなと歴史伝承館⇒道の駅あきた港「セリオン」⇒展望台⇒秋田市文化会館

【理事会】

16:00～16:55 秋田市文化会館 第4会議室

【懇親会】

18:00～20:00 比内や 秋田店 (<https://hinaiya-akita.owst.jp/>)
会費 3,500 円／飲み物別

11月24日(日)

【受付】

9:00 秋田市文化会館 第4会議室前

【会員会】

09:20～10:00 秋田市文化会館 第4会議室

【研究発表】

秋田市文化会館 第4会議室
10:05～10:30 原発事故被災地の復興に向けたボランタリー・ネットワークの取組と課題
—双葉郡未来会議を事例に—

加井佑佳(福島工業高等専門学校)

松本行真(近畿大学)

杉山武史(福島工業高等専門学校)

10:30～10:55 地域差による介護予防事業の類型化 —宮城県 A 市を事例に—

大井慈郎(岩手保健医療大学)

木村雅史(東北大学)

10:55～11:20 安心・安全なまちづくり —雪害死傷者減少のための住民防災評価—

高千穂安長(東北大学大学院)

11:20～11:25 [休憩]

11:25～11:50 計画の推進状況からみた新たな東北圏広域地方計画の特徴

野々山和宏(弓削商船高等専門学校)

11:50～12:15 原発避難地域における「共同性」のゆくえ

—双葉町行政区長にたいするヒアリング調査より—

齊藤綾美(八戸学院大学)

東北都市学会
東北都市学会事務局

〒970-8034 いわき市平上荒川字長尾 30
福島工業高等専門学校
ビジネスコミュニケーション学科
田渕義英研究室気付

Tel 0246-46-0857

E-mail tabuchi@fukushima-nct.ac.jp